

令和2年1月8日

川口支所地域振興課

## 1 主旨

### [主旨]

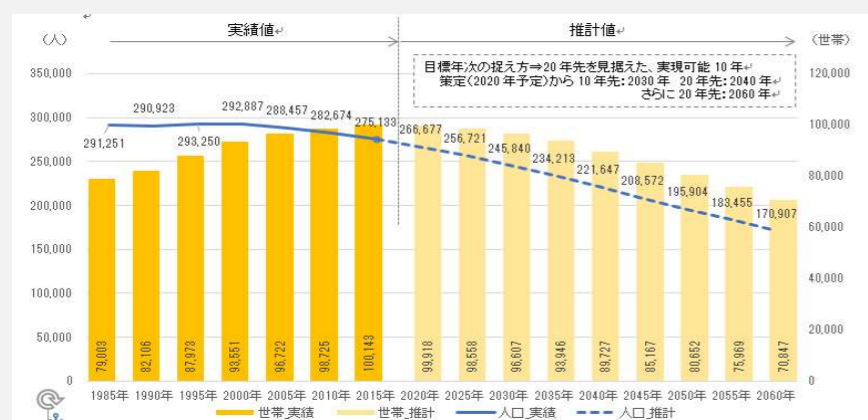
地域の代表機関として活躍してきた地域委員会のこれまでの活動を振り返るとともに、地域の現状と課題を総合的な視点から照らし合わせながら、今後の地域づくりに相応しいまちづくりの提案や広聴機能の形について、幅広く議論していただきたい。

### [背景]

- 合併後、支所地域におけるまちづくりの検討や広聴の代表機関として、地域委員会を設置
- 15年にわたり、地域における振興策や生活課題への対応などを議論。ふるさと創生基金事業や地域の宝磨き上げをはじめ、少子化を背景とする小学校や保育園の統合、交通対策、コミセンの開設、新たな活動の誘発など、様々な成果を創出してきた。
- 一方、いずれの地域においても人口減少、高齢化は着実に進んでおり、地域の担い手不足はいずれの地域においても懸念されている。
- そのようななか、地域には区長会や総代会、コミセン協議会など住民代表が集う様々な組織が存在し、広聴機能の効率化を求める意見も散見されるようになってきた。
- また、若い世代の多様な活動が芽生えている地域もあるなかで、次代を担う若者の意見を積極的にまちづくりに活かすことが、地域の活力維持につながるといった意見も聞かれる。

## 2 川口地域の現状と課題

### (1) 全市人口及び世帯数の推移と将来見通し



※川口地域の震災前後の比較

	人口 (人)	高齢化率 (%)
H16.4.1 (震災前)	5,697	27.1
H31.4.1 (震災後)	4,340	38.1
増減	▲ 1,357	11.0

### (2) 地域の主な課題

- ・支所及び周辺公共施設(老朽化し、防災上の観点からも問題がある)のあり方の検討
- ・交流人口増加のための観光・交流の振興(観光施設や地域の宝の活用)
- ・高齢者世帯の増加により、公共交通機関の拡充、買い物難民対策が必要となる

### (3) 広聴組織、団体の状況等

- ・旧大字単位の代表者(12人)の集まりである「総代会」で川口地域全体の課題の検討や住民の意見や要望の集約、市の予算などの情報を提供している。
- ・地域内39集落の代表で「連絡長協議会」を組織しており、月一回会議を開催し、市からのお知らせ、配布物の配布依頼のほか、集落内の情報について提供してもらっている。
- ・令和2年度中にコミュニティセンターの開設を目指し、準備委員会を設置して議論を進めている。

## 3 川口地域委員会が果たしてきたまちづくりへの提案・広聴機能

### [まちづくりの提案]

- ・子育て環境について、地域委員会で住民の意見を聴きながら対応策をまとめ、市に提案書を提出したことにより、保育園の整備の計画が進んでいる。(平成28年度)
- ・コミュニティ推進のため、「コミュニティ検討委員会」の設置を提案し、来年度予定されているコミセン開設につながっている。(平成25年度)

### [広聴機能]

- ・子育て環境を検討するため、地域委員会で子育て世代にアンケートを行った。(平成27年度)
- ・NPO暮らしサポート越後川口が川口地域のコミュニティバスの運行手続きを進めるにあたり、地域委員会と運行時間・運行ルートを協議することにより、より利用者の利便性に沿った運行時間・運行ルートで運行することにつながった。(平成24年度)

## 4 今後の検討テーマ(案)

次のテーマについて幅広く御意見をいただきたい。

- まちづくりに関する地域住民の意見・提案をお聞きする「広聴の仕組み」として  
相応しい形は
- 多様な地域課題に対し、実のある検討を柔軟に行う「検討の仕組み」として  
相応しい形は